

地域教育  
情報紙(23年度)  
第8号



平成24年2月27日発行  
＜担当＞富士・東部教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
石井基晴・田辺洋利  
小川弘一・立川 博

### ＜谷村工業高等学校 教育実践＞ 1月30日（月） 於：都留市文化ホール

「地域産業発展を支え、社会の変化に主体的に対応できる工業人の育成」を教育目標に掲げている谷村工業高等学校の教育実践公開発表会です。国立教育政策研究所の教育課程研究指定校にもなっています。さらに、来年度からは新学科体制もスタートします。

- 教育実践発表「インターンシップ実践発表」（1年） 「沖縄修学旅行」（2年）
- 課題研究発表「桂川水域の水質検査」「Science Partnership Project」（化学・デザイン科環境化学コース）  
「技能士への道～国家技能検定3級を取得して～」(機械システム科)  
「液化現象の実験」（建設科）「マイコンを用いた電飾看板の作成」（電子情報科）  
「サンドグラスと技法を使用した作品製作」（化学・デザイン科デザインコース）

### ＜上野原高等学校 第1回総合学科発表会＞ 2月18日（土） 於：上野原高等学校

本年度より開設された「進学型総合学科」の発表会です。総合学科は1年生だけですが、2年生3年生も「修学旅行」「郷土研究」の発表を行いました。また、吹奏楽部の発表もあり、参加した中学生も上野原高校の様子を知る大変良い機会にもなりました。

- 「ドリームスピーチ」（産業社会と人間）・・・各クラスの代表が自分の夢を発表しました。
- 「郷土研究」（学校設定科目）・・・B29の墜落に焦点をあてた太平洋戦争と上野原についての研究。
- 「修学旅行」（2学年）・・・北海道の自然、文化、歴史等を学んできました。
- 「ドリームシェアリング」・・・各クラスの代表が総合学科についてそれぞれの考えを述べました。

### ＜富士北稜高等学校 第5回生徒発表会＞ 2月18日（土） 於：富士北稜高等学校

富士・北稜高等学校では、自分の進路に合わせて系列を選び、進路の実現に向けて専門的な学習に取り組んでいます。放送部の生徒さんのさわやかな司会によって、様々な系列の特色ある学習内容の発表や、英語の暗誦や弁論の発表もありました。

- 「チャレンジ2011～即戦力となる技術者を目指して～」(機械テクノロジー系列)
- 「農業の側面から地域交流を考える～つむぎ続けるために～」(福祉健康系列)
- 「探索アルゴリズムの応用～リバーシブルゲームの作成～」(電気情報系列)
- 「英語スピーチ」(全国商業高等学校英語スピーチコンテスト山梨予選出場者)
- 「高校生的商品開発」(ビジネス系列・情報系列)
- 「まちなかに人が集まる場をつくる～大津蔵整備プロジェクト～」(建築デザイン系列)

### ＜「高校生インターンシップ推進事業」実践事例発表会＞

2月17日（金） 総合教育センター

- 白根高インターンシップ～進路選択のための就業体験～
- 甲府城西高等学校におけるインターンシップの取り組み

講演：「高等学校におけるインターンシップの現状と課題」

文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導研究センター 統括研究官 藤田 晃之

インターンシップ事業を実施している2校の生徒の満足度は、白根高校の場合は満足87%で、事前に「やりたいと思った」56%から31ポイントも増えています。不満足は3%で、事前には「やりたくなかった」17%から14ポイント減少しています。甲府城西高校の場合は、参加して大変良かった83%、良かった17%と高い数字が示されました。また、講演の中では日本の教育の本当の危機として①学びに対する興味関心の希薄さ ②将来との関連性の見えないままでの学び ③受験終了後に剥落する「知」の危険性をあげ、それらを背景としたキャリア教育、インターンシップの在り方について熱のこもった内容の濃い講演会となりました。

## <第8回地域交流研究フォーラム> 1月28日(土) 会場：都留文科大学

主催：都留文科大学地域交流研究センター 後援：富士・東部教育事務所



「大田 堯先生とともに考える“生きる”こと、“学ぶ”こと、そして未来へ・・・」都留文科大学元学長で教育学者の大田堯先生のドキュメンタリー映画「かすかな光へ」の上映と、さいたま市の大田先生の自宅とインターネット中継を使つての懇話会が行われました。人(命)は【違う・変わる】、そしてその命に【関わる】ことの大切さを強く感じました。この映画は震災前に完成したのですが、震災後の私たちの生き方に大切な示唆を与えています。

## <勸学院北都留学園文化展> 2月4日(土)～2月5日(日) 於：上野原市文化ホール



本年度は上野原市文化ホールでの開催でした。書道、絵画、写真、水墨画、手芸、陶芸、生け花、俳句、またクラブの活動の紹介等、多くの素晴らしい作品、研究、活動が展示されました。皆さんの日頃の思いが伝わってくる二日間の文化展となりました。なお、来年度の勸学院の募集が始まっています。詳細は各教育委員会、富士・東部教育事務所にご連絡をお願いします。

(写真：震災で被害を受けた方々への励ましの絵手紙のコーナー)

## <シンポジウム「小金沢シオジの森の魅力」> 2月4日(土) 於：大月市民会館

主催：シオジ森の学校 後援：日本山岳遺産基金、山梨県、大月市、山と溪谷社

基調講演「シオジの森はすばらしい」生原喜久雄 (東京農工大学名誉教授)

シンポジウム 石原 誠 (山梨県立森林の森森林科学館館長)

今関 裕章 (山梨県東部林務環境事務所次長)

坂田有紀子 (都留文科大学初等教育学科自然環境科学系 教授)

下澤 直幸 (シオジ森の学校スタッフ)



予定を上回る約130名の参加者を迎えての開催です。シオジの森の魅力がいっぱいつまった内容でした。森の自然環境を保つために今何をすべきかを考える機会となりました。

\*来年度 「地域教育 明日の風」の定期総会は7月12日(木)午後

大月市民会館での開催予定です。

【今年度最終の「風と光と」になります。来年度も皆様に地域の情報を発信していきたいと思っております。ご意見、ご要望等ございましたら、ぜひ事務局へご連絡をお願い致します。】